



受賞の報告に訪れた桜川日本花の会の皆さんと大塚市長（写真中央左）

4月15日 桜川日本花の会 日本さくらの会からさくら功労者賞受賞

公益社団法人日本さくらの会主催第50回さくら祭り中央大会で、功労者表彰が行われ、さくら功労者として、本市の桜川日本花の会が表彰されました。
これは、桜の保護、植栽、品種の収集保存や普及を目的とする日本さくらの会の事業に貢献した団体などを表彰するもので、桜川日本花の会による、歴史ある市内の桜の生態保護活動や近隣学校への課外学習活動などの日々の功績が認められました。
受賞された皆さんは、「大切な桜を守るため、今後も力を合わせて頑張っていきたい」と話していました。



県から感謝状を受賞されたシルバリーハビリー体操指導士と関係者の皆さん

6月17日 シルバリーハビリー体操指導士17人が、県から感謝状受賞

桜川市シルバリーハビリー体操指導士会（西村勝征会長）の体操指導士17人が、県から知事賞などの感謝状を受賞しました。
県では、高齢者の介護予防を推進するため、「シルバリーハビリー体操」の普及を推進。今回、住民の健康づくりや介護予防活動に貢献したとして、ボランティアで普及活動を行っている団体体操指導士に感謝状が贈られました。
西村会長は、「今までやってきたことが認められ、嬉しい。これからも地域に密着した、体操の指導、普及活動を勧めていきたい」と話していました。



丹精込めて作った野菜をプレゼントした真壁町真園会の皆さんと受け取った園生の皆さん

6月16日 青年農家「真壁町真園会」丹精込めた野菜をプレゼント

真壁地内の青年農家13人で構成される「真壁町真園会」（須藤紀明会長）から、真壁授産学園・真壁厚生学園・紫峰更生園に、採れたての小玉スイカやキュウリ・トマトなどが贈られました。
これは同会が毎年実施しているもので、今年で20回目。丹精込めて作られた初夏の味覚に、園生たちは大喜びでした。
須藤会長は「自分たちが作ったもので喜んでいただけるのは嬉しい限りです。これからも喜んでいただけるように、この活動を続けていきたい」と話していました。



「歩け歩け大会」で、元気に桃山中学校を出発する生徒の皆さん

5月23日 桃山中学生徒349人 歩け歩け大会で筑波山踏破

桃山中学校で「歩け歩け大会」が開催され、生徒349人が同校の運動場から筑波山山頂までの往復約20kmを踏破しました。
この行事は、友達同士の協力や自然環境の大切さを学ぶことなどを目的に毎年開催し、今年で24回目となりました。
当日、生徒たちは、多くの保護者のサポートのもと、筑波高原キャンプ場までごみ拾いをしながら歩き、頂上付近で昼食。全国緑化行事発祥の地記念碑などを見学しました。同校の枝川健校長は「友達と励まし合いながら筑波山踏破に挑戦し、友情の絆をさらに深めて欲しい」と話していました。

まちな話

真壁高校の「まかびよん」桜川市非公認キャラに認定 6月8日

真壁高校の公認キャラクター「まかびよん」が、大塚市長を訪問し、市の非公認キャラクターに認定されました。
まかびよんは、2年前に同校の男子生徒が原画を描き、その原画を基にして当時の数学科の先生がコンピュータで編集して生まれたキャラクターです。
まかびよんは、「皆さま、どうぞよろしくお願いします」と話していました。活動の様子は同校ホームページで公開。学校行事や市が実施するイベントなどにも積極的に参加する予定です。



桜川市非公認キャラに認定された真壁高校の「まかびよん」（写真中央）と植木邦夫校長（写真右）、大塚市長（写真左）

まちな話

JA北つくば 地元の旬な農産物をPR 6月3日

JA北つくば真壁促成部会と園芸部会の皆さんが大塚市長を訪問し、桜川市で収穫された農産物のPRと販路拡大の協力を要望しました。
訪問したのは真壁促成部会長の太田康史さんと役員3人、園芸部会長の潮田新正さんと役員3人で、全国一の生産量を誇るこだまスイカをはじめ、新鮮なきゅうり・トマト・ねぎを大塚市長や関係部署にPRしました。
両部会長から販路拡大の協力要望を受けた大塚市長は、「市の農業発展のために、農産物をPRしていく」と話していました。



大塚市長（写真後段左）と関係部署に、新鮮な農産物をPRしたJA北つくば真壁促成部会と園芸部会の皆さん

まちな話

和装姿で矢を放つ 「大和やぶさめ合戦」 5月24日

大和やぶさめ合戦（大和流鎗馬技術実行委員会主催）が、大和ホースパークで開催。和装姿の選手たちが勇壮に矢を放ちました。
これは、流鎗馬をスポーツ競技としたもので、地域活性と同競技普及を目的に毎年開催され、今年で7回目。3つの的を馬上から射抜き、得点を競い合います。
当日は、全国から7チーム21人が参加。県内外から多くの観覧者が訪れ、選手が的を射ぬくと大きな歓声が上がりました。
同実行委員会の藤田哲委員長は、「勇壮なスポーツ流鎗馬を皆さんに知ってほしい」と話していました。



疾走する馬の上から矢を放つ選手

自由で清らかな意見交わされる 市政モニター会議開催 6月24日

市役所大和庁舎で、市政モニター会議が開催され、市民の方24人が平成27年度の市政モニターとして、委嘱されました。
桜川市では、市政に対し、既成の概念にとらわれず、自由で清らかな意見を聴くために同モニターを設置。平成27年度は、一般公募者1人と区長推薦者23人で構成されています。
当日は、19人が参加。大塚市長をはじめ梅井教育長や各部署長が出席するなかで、公共施設や広報、観光、学校、病院などについて、さまざまな意見が交わされました。



大塚市長をはじめ梅井教育長や各部署長と意見を交換した市政モニター皆さん